



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>

第24号（平成20年10月）



新涼を 満ちて迎える 並木道
私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 石川 維雪
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷5-32-31 学燈塾内
TEL:03-6680-6542 FAX:03-6368-5489
Mail:center-office@shijuku.net

理事長 鈴木 正之
03-5743-7458
広報部長 大住 明敬
048 - 957-8608



全国学習塾協会設立20周年記念大会 塾の日記念式典2008 in Tokyo

成人を迎えた私塾業界、新たな一步を踏み出す

平成20年10月12日、秋晴の東京に全国の塾人が集まり、(社)全国学習塾協会の設立20周年を祝った。会場となったのは、新宿西口高層ビル街に燦然と輝く、ヒルトン東京。午後1時15分、塾の日記念式典第一部が始まった。伊藤政倫会長のご挨拶に続いて、各界から祝辞が寄せられた。

式典ではまず永年勤続職員および塾生表彰、自主基準遵守塾表彰、読書作文コンクール表彰と恒例の表彰式が執り行われた。設立20周年ならではの第一部のハイライトは功労者特別表彰であった。これまで学習塾業界の発展に寄与され功績のあった個人および団体に、設立20周年を機に全国学習塾協会から表彰する



式典に先立ち功労者の方々の記念撮影が行なわれた。

というものだ。功労者個人および団体は別表の通りである。表彰を受けられる個人は、各団体からの推薦によるもので、私塾ネットからは安藤進理先生、平林治先生、佐藤勇治先生の三氏が推薦された。尚、落合清晃先生、山口恭弘先生は全国学習塾協会、田中敏勝先



功労者特別表彰者を代表し落合先生の記念スピーチ。車椅子を支えるのは淀全国学習塾協会副会長。



第二部の司会者仲野関東代表

生、西畑正夫先生はNPO全国教育ボランティアの会、谷村志厚先生、玉城邦夫先生は千葉学習塾協同組合の推薦である。

午後3時30分からの第二部はステージ1と2の二部構成である。司会

進行は私塾ネット関東の仲野代表がみごとに務めた。まずステージ1は「音楽と写真で綴る2つのJの20年」と称するパフォーマンスであった。設立以来20年間の日本(J)と塾(J)の出来事を、パワーポイントで映像で投影しながら、その時代の名曲を重ねるという演出であった。音楽は聖徳大学レディーズウィンドオーケストラの迫力ある生演奏であった。



理科の公開授業を行なう鈴木幸広先生。

ステージ2は「授業公開！スーパー講師を目指して」と題して、現役の塾講師3名が生徒を前に、社会、理科、国語のライブ授業を行なった。出席者を前に舞台上に、上がっての授業とあって少々戸惑いもみられが、そこは百戦錬磨のベテランプロ教師。そつなく大役をこなしてほっと一息(客席も)であった。ステージ2の終盤は、玉川大学山口教授の「授業にとって大切なもの」と題する講演でアカデミックにまとめた。最後は塾に通っている子どもたちによる「ぼくたちにとっての塾」をテーマとするメッセージで、なごやかな雰囲気の中で大団円を迎えた。

224名を数えた盛大な親睦交流会

第三部は親睦交流会である。懇親会出席者は224名を数え、着席によるコース料理の宴席はさすがに大迫力であった。伊藤会長の開会のご挨拶から祝辞が続くなか、それぞれのテーブルでは同席者の交流が始まった。祝宴はピアノと独唱によるミュージックコン

サートで華やかに演出されたが、宴席の常、こここで乾杯が繰り返され談笑に占拠されていた。

宴席終盤の山場は記念誌完成報告会であった。編集長佐藤勇治先生、副編集長菅谷友豊香先生のまさに「執念」により完成した20周年記念誌である。執筆者を壇上に招いて、感謝のお気持ちを伝えるのがお二人の報告会の趣旨であった。それにしても400ページを超える大部のみごとな記念誌「絆 きずな」である。皆さんもぜひ手に取られ目を通してください。

ところで、表舞台が華やかであればあるほど、これを支える裏方は大変である。第一部から第三部まで半日間、今回の記念式典と懇親会の進行をバックアップしたのが、私塾ネットのメンバーであった。

配布物の袋詰めから宴席の席割りまで、鈴木理事長自ら汗を流すこととなった。準備と段取りの悪さを主催者に苦言を呈し、当日裏方として活躍をされた私塾ネット関東のメンバーのお名前を記録させていただくこととする。鈴木正之、仲野十和田、佐藤勇治、長江勝秋、石川維雪、菅谷友豊香、加藤実、田中宏道、菅谷隆臣、菅谷幸子、中村直人、渡辺浩、監物一男、安藤光、須永勇次郎、岩瀬喜孝 (以上順不同敬称略) 文責谷村



安藤顧問と立脇亮先生



広島の山口先生と札幌の入江先生



梶原先生岡田先生になにやら一言



平林顧問と田中、長江先生



高知の岡田先生と鈴木理事長



北の関、南の湯口両巨頭



穏やか&和やか 松本先生

陽気に場を盛り上げる渡辺、菅谷先生 ともにしらふなのは立派



神奈川愛酒連盟・長江、中村先生



社団副会長コンビの碓、楠山先生

功労者特別表彰(個人)

安藤進理、平林 治、佐藤勇治、落合清晃、森 貞孝、石井正純、山口恭弘、大島睦男、岡田保雄、久保田一郎、藤原 信、筒井勝美、居石 哲、福島清三、鳥海十児、田中敏勝、西畑正夫、玉城邦夫、田中幸穂、谷村志厚、皆倉宣之、野口眞光、山本チヨア、木村美津子、大嶋志津、田中久男 (太字私塾ネット会員)

(以上、26名)

功労者特別表彰(団体)

NPO法人 全国教育ボランティアの会、関西私塾教育連盟、泉州私塾連合会、全日本私塾教育ネットワーク、私塾協同組合連合会、東京私塾協同組合、全日本学習塾連絡会議、埼玉県私塾協同組合、民間教育連盟、全国学習塾協同組合、NPO 学習塾全国連合協議会、千葉学習塾協同組合、群馬県学習塾協同組合、学校教育支援調査会、社団法人 かながわ民間教育協会、愛知県私塾協同組合、塾教育研究会、進路指導研究 (以上、18団体)



社団伊藤会長(左)と西畑、湯口、谷村先生



石川事務局長と大阪の津田先生



記念誌編集長佐藤先生とこれを補佐した菅谷先生。右は安藤光先生。



千葉の私学の先生を一手に引受けた田中宏道先生(左端)

私塾ネット関東・宿泊研修会珍道中

私塾ネット関東総務部長 渡辺浩（渡辺塾）

9月7日（日）に一泊で、伊豆へ宿泊研修旅行に行ってきました。

まずは午前11時に東京駅集合。いつもは携帯電話の恩恵を最大限に授かり、集合時間は目安の時間でしかないような気もしますが・・・、この日はかりは15分前には全員集合していて、11時には出発が完了しました。皆様、バスに乗り込むなり、右手にビール、左手におつまみ。また、東京駅からバスで移動するのですが、そのバスが観光バスではなく、レンタカー。運転席には、関東代表の仲野先生。私塾ネットの予算の関係もあったとか、なかったとかで（笑）、仲野代表自らが運転して、いざ伊豆へ。



テーブルいっぱいの料理はすべて手作り。名シェフ宮脇さん（左端）の腕が冴える。この方本業は何？



湯河原の温泉で一汗流す。まさに裸の付き合い。

途中、海老名のサービスエリアに寄り（川久保先生が運転する高級ドイツ車と合流）、1つ目の大事な目的である湯河原の温泉に午後2時ごろ到着。昼に入る温泉はいいですね。旅行のあまりの楽しさにテンションが上がって過ぎて、逆立ちしてお風呂の滝を浴びる先生もいらしたようです。（笑）

途中で夕飯の買出しをし、貸別荘「マリンテラス熱海」に到着。夕飯は貸別荘ということで、宮脇料理長を中心に自炊しました。宮脇先生は日ごろから食事を作ったり、ホームパーティーを開いたりということで、今回の企画もそれがきっかけでした。包丁も警察官に捕まらないように、出刃包丁を家から持参。途中から谷村先生、碓先生も参戦して、2つある台所は異様な熱気に包まれました。そして、出てきた料理は鶏肉とピーマンの炒め物、鶏肉とカシュナツ炒め、から揚げ、焼き鳥、フライドポテト、酢の物、オニオンサラダ、などなど、チヂミは家庭料理の鉄人・谷村先生が家から食材の一部を持参しての調理で、メジマグロ、鯛、イナダを一匹丸ごとさばいたのは宮脇さん、これを理師免許を持つ

碓先生が盛り付け。その料理の種類はなんと10種類以上！参加した15名全員が大満足の食事でした。

夕食を食べながら、谷村先生の用意した北京オリンピック人物クイズがあり、また、私塾ネット関東バンド演奏（トランペット：長江先生、ギター：仲野先生、キーボード：私渡辺）によるカラオケ大会が始まりました。カラオケでは、谷村先生の替え歌「少年時代」が聞け、安藤光先生（マイクの持ち方が歌いこんでいる人ならでは）、須永先生の歌を聞くことができました。塾の先生にとって夜は長く、その後、夜の熱海の街に消えた先生もいらしたようです。

今回の旅行は手作り感のある思い出に残る旅行でした。また、この旅行を通して仲野代表が目指している私塾ネット関東のカタチが見えた気がします。



4 仲野代表自らがバスのハンドルを握る。悪路難所をみごとにやりすごして大拍手が湧く。私塾ネット関東の前途は明るい。

理事長活動日誌

理事長 鈴木正之

20代の頃、よく行ったラーメン屋がある。「チャーハン大盛りと餃子、それとピールね」定番だった。落ち込んでいるとき、気が滅入っているときにそこに行くと、なぜか、癒されて元気になる。不思議なラーメン屋だった。今は私が引っ越したため、行かなくなってしまった。先日、近くに用事があったので寄ってみた。「お久しぶりです」覚えているのだ。20年前は別に会話をした覚えもなく、ただ黙々と食べるだけだった若造を覚えているのだ。以前はチェーン店の1つだったが、今は独立して別の店名で営業している。しかし、その店に行くと元気になることは変わらない。「また、来ます」と店を出た。9月7日に札幌、9月14日に松山に行ってきた。札幌に行って元気になり、松山に行ったらさらに元気になった。この秋も元気になる私塾ネットのイベントが沢山ある楽しみである。「私塾ネット(の集まり)に出ると元気になるよ」これが私塾ネットの目指すものの1つであろう。

札幌



札幌進学教室・入江先生

石川事務局長と私は札幌進学教室へ向かった。そして入江先生と10時間近くお話をした。私塾ネットは北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州と8つのエリアから成立している。ところが実際にエリア代表がいるのは北海道、東北、関東、中部、中国、四国であり、近畿と九州は少なくともエリアとして機能していない。代表がいる6つのエリアでも北海道は活動が出来ない状況。今回、北海道代表の入江先生の所へ出向いたのは、私塾ネットの組織の改善を図るためである。エリア北海道を知ることが、今後の組織のあり方を考えるヒントとなると思ったからだ。その話の中で出てきたことは、インターネットの活用の推進、私塾ネット会員として、エリアにとられない個人会員について、私塾ネットの中で別の会の発足と複数の会への参加など、色々な話が出てきた。とても有意義な会話が出来た。ひょっとしたら、私塾ネット札幌・・・？

四国

愛媛学習塾連盟20周年記念式典に私塾ネット四国の皆さんが参加。当日の午前中には四国の研修会が行われた。関東からは石川事務局長と当塾の山本と私の3人で参加した。当日は羽田でシステム障害が発生1時間遅れで到着した。その後欠航が多く出たらしいので、とりあえずラッキーだった。松山空港で四国代表の寺嶋先生が待っていてくれた。

私塾ネット四国研修会、愛塾連20周年記念式典、句会、懇親会と続く。

午前中の研修会では原田先生の講演を先生方が真剣に聞き入っていたのが印象的だった。句会では徳島の松田先生(スタディシップ学習塾)が1位、山本が2位となった。石川先生の句も紹介され、句会は盛り上がった。句会は各エリアでも催し物としておもしろいと感じた。もちろん、塾でも塾生相手に出来そうだ。

さて、四国研修会の際に挨拶をさせていただいた



松山ならではの句会ライブ、右端は第一席の松田さん

時、湯口先生の顔を見て思い出したことがある。最初に四国(香川)に行ったときに見た湯口塾の衝撃。「学習塾が町を変えている!」、香川県を変えていた。学習塾が地域を変えることができることをその時に知った。我々がやっていることは、目の前の子供達を精一杯指導することしかできないが、それで子供達が変わり、子供達が変わることで社会が日本が変わっていくと思う。それぞれの会員塾と賛助会員の私学が、各々の得意分野を活かして子供達の指導に当たることを願う。

余談: 次の日、十亀先生に我々3人は松山を案内していただいたが、商店街で小田和正さんと、港で小沢一郎氏に遭遇した。



四国八十八箇所第五十一番札所石手寺の山門にて。左より石川、鈴木、山本。撮影は愛媛の十亀先生。

塾全協主催私立中高進学相談会を全面バックアップ

須永勇次郎（調布学園）

NPO法人塾全協主催の進学相談会は、毎年9月中旬に新宿NSビルで開催されており、今年で29回目を迎えました。私塾ネット関係者も協賛団体として、例年参加・協力しており、御存知の方も多いため、この定期広報においては、本年の新しい取り組み・改善点について、ここ数年の相談会の比較しながら、ご報告したいと思います。

最初に、気になる入場者数ですが、当日の1時半時点で昨年度の参加者を上回ったとの報告があり、最終的には3,800人くらいだろうと聞いておりま



新宿NSビルの地下展示場は私学のブースで埋った。

す。この数字は、各地で進学相談会が頻繁に行われるようになり、その分幾つかの相談会で来場者減の傾向が見られる中、健闘したものと思われま

す。次に広報面ですが、今年は5区の教育委員会の了承を得ることができ、公立小学校で配布できた聞いております。例年中学生が圧倒的多数の8割を占め、小学生が少なく、高校募集をしない中高一貫校から不満の声が聞かれていましたが、今年は小学生も3割近く来場したように思われ、この点の改善は大変な功を奏したものだと思われま

す。またブース配置については、今年は男子校・女子校・共学校とスペース分割されており、3年前に単純に五十音順にして混在させたのとは逆の対応であ



入試相談に応じる安藤顧問と筆者。

り、女子校ブースには来客が少なくなるかもと心配したものの、親子連れの小中学生ら度々訪れており、ほぼ杞憂に済んでよかったと思います。

更に、朝日新聞に記事として取り上げられた点は、多いに宣伝効果もあったのではないかとされます。朝日新聞社にも宣伝用ブースを用意され、中学受験を経験した大学生を招待して小学生親子に中学受験をアピールするなど、既成概念に拘束されないマスメディアならではのパフォーマンスは、相談会のあり方に一石を投じるかもしれません。

最後に、小職が担当した「相談コーナー」ですが、去年はやや閑散としたものの、今年は引切り無しに来客がありました。小職もほぼ途切れることなく、12人の相談に応じました。ここ数年の相談内容の変化として、以前は公立校の教育内容や指導に不安や不満を訴えるような相談が多くみられましたが、3~4年前から単純に私立を第1志望にすべきか迷っているという相談が多くなり、今年は最初からどこの私立校が一番自分に合っているのか、という相談が多かったように思います。即ち、最初から私立校が第1志望という前提で相談に訪れる傾向が定着してきたように思われます。（勿論、公立高校の併願高を探しに来場している中学生が多いのは事実です。）



私学の先生の熱心な説明に受験生の表情も真剣。

最後に余談ですが、民主党の小沢氏が代表就任の演説で、英文を引用し「We must change to remain the same」「変わらずに生き残るためには、変わらなければならない」と訴えたそうですが、この進学相談会をお手伝いさせて頂いて、毎年同じように見えていても様々な改善に取り組んでいることを知り、小職は自塾の50年の歴史に安住するのではなく、絶えず改善に取り組む必要性を痛感しました。



進路相談に応じる筆者。



中高受験分析に真剣に聞き入る受験生と保護者。

教務部報告 岩瀬 喜孝(ナカジュク) ～ 碓数学編～

9/29(月)に私塾ネット関東の教務研修がありました。今回は碓先生の数学の研修です。私岩瀬は2003年私塾ネット全国研修の分科会・高校受験数学で碓先生に初めてお会いしました。そのときの衝撃はとてすさまじく、私は感即動し、一カ月後には(ナカジュク入社三ヶ月目にして)自分の授業を(上司である)教室長に任せ、碓先生の塾舎見学に行ったほどです。それから約5年間、群馬県太田市にある碓先生の塾舎(片道2時間)に、月1回のペースで勉強会に通い続けています。不思議というか縁があるというか、その勉強会の顔ぶれは2003年全国研修の分科会とほぼ同じです。

今回の研修のテーマは「図形」でした。碓先生の授業は教科書・文科省とは一味違った「数学の流れ(一貫性)」にそのわかりやすさと面白さがあります。今回も、

「図形の基本(はじまり)って、何？」

わかりそうで、なかなか難しい質問です。子ども達は大人以上に引き込まれ、真剣に考えます。そこには頭をスッカリさせる答えが用意されていて、パラダイムシフトが起こります。碓先生は以前から「毎授業で生徒に小さな感動を」と言われていました。これは、数学が苦手な生徒に興味を持たせることにも有効ですが、数学が得意な生徒にこそ、本当に有



効です。学校の先生や教科書、参考書とは全く違った切り口に数学が得意な生徒は「この先生は面白い」「この先生についていけば大丈夫」という知的服従をします。生徒から人気者になるパフォーマンス授業ができる先生



碓先生教え魔の本領を發揮。

とは、全く違った質の信頼関係が生徒と築けます。また、副産物ですが、碓先生の数学の流れで考えると、今まで見えなかった「なぜ、これを勉強するのか」や「さらに進んだ数学の考え方」が見えるようになりました。勉強しているのは中学・高校の数学ですが、それまで難しくて読めなかった大学の数学の本が読めるようになって自分に驚くときが多々あります。断片的な知識が身につくのではなく、自分自身の一貫した数学のものの見方「数学力」が伸びていると感じます。

碓先生の数学の面白さは、塾の先生にとって先生自身が「面白い授業だ」と感じるだけでは勿体なく、授業で使ってこそ何倍もの威力を發揮します。それまで数学を教えていなかった先生が碓先生の授業を教わることも意味はありますが、数学を教えている先生が進行形で教わりながら授業で使っていくことがより効果的だと思います。また、私は授業には先生のキャラクターが大きくでると思っています。だから、その先生にしかできない授業もあると思います。ただ、碓先生の教え方を試してみることから気付くことがあると思いますし、それを試してからでないとその本当の価値に気付くことはできないと思います。私はその価値に気付いた中に、本当の自分流のその先生にしかできない授業があると思っています。

私塾ネット関東・私学情報交換会開かれる

日時：平成20年10月5日 会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

私塾ネット関東 桂馬 辰尚

10月5日、アルカディア市ヶ谷（私学会館）において4校9名の私学の先生方のご出席を頂き、私学情報交換会が開かれました。



仲野十和田私塾ネット関東代表の開会の挨拶。

当日は、朝から曇り空、夕方より小雨が降り出す天候でしたが、多くの皆様のご出席を頂きました。

今回ご出席の先生は、帝京中学校高等学校校長・金野眞行先生、自由学園学園長・矢野恭弘先生、同男子部中学部高等科部長・鈴木康平先生、同磯地範子先生、京華学園（京華商業高校校長）・大橋充幸先生、同広報室主任今野巖先生、千代田女学園中学校高等学校校長・菅原俊軌先生、同主幹長尾和雄先生、同主任福井寿先生の方々でした。

第一部の情報交換会では、まず各学校の先生方に25分の時間で、学校の最新の情報をご説明頂きますが、入試の説明でも、学校の特色でも、その内容に決まりはなく、先生方の自由なご説明をお願いしており、その先生方のお人柄を浮き彫りにしようという企画で行っております。

トップバッターの金野先生は、東北岩手でお生まれになり、小学校の頃はひ弱でいじめられていたのが、中学校で活発になり成績をトップにまで引き上げたお話や、帝京学園に奉職され医歯薬コースを担当され、12年で多くの国公立医学部合格者を出すまでに至るご苦労を話されました。いつも「期待されるのは辛い、期待され

ないのはもっと辛いよ。」と生徒にやさしく話しかける先生の教育への情熱が強く感じられました。

2番手の自由学園の矢野先生は、自らの経歴を話された後、自由学園創立に至るお話、3万坪のキャンパスに恵まれ、幼児から大学部までの生徒を有する学園の構成、「自分たちで自分たちを治める」自労自治のお話など、パワーポイントを使ってのご説明の中、明るくのびのび学ぶ生徒たちの姿に、教育の原点を感じました。

京華学園の大橋先生は、下町三ノ輪でお生まれになり、京華中学に学びその後京華学園の先生になられるまでのいきさつ、そして旅行がご趣味で、京都などを旅行し仏教施設を回られるのがお好きで、特に「テレビの時代劇やサスペンスドラマに出て来たシーンの場所に行って写真をとるのが楽しい」と話され、先生のお人柄に親しみやすさを感じました。



ラストの千代田女学園の菅原先生のパワーポイントを使ってのお話は圧巻でした。

昭和50年代から20年代にテレビに登場した「菅原」という姓の有名人を上げられ、昔を思い出しながら先生の名前を印象づける演出には、驚きました。そしてついに菅原道真の話になり、いつしか先生の日本史の授業に引き込まれました。先生が大学4年の時、友人の死に直面し大学院で仏教を学ぶ決意をされたお話では、会場が静寂した雰囲気になりました。

先生方がこの会でお話頂くのもご縁、また教師になられたのもご縁があったからこそであり、ご説明頂いた先生方の「人となり」が短い25分間のご説明の中で浮き彫りになったのではと思います。

今回は昭和63年にAIM学習セミナーで2校の先生方をお招きして以来、26回目になります。



トップバッターは帝京金野校長

第一部の説明会が終了後、第二部の懇親会が同じアルカディア5Fの「大雪」で開かれました。恒例の懇親会は、私塾ネット理事長鈴木先生の挨拶で始まり、来賓を代表して神田女学園中・高等学校校長齊藤元治先生のご挨拶、ラストにご説明頂いた菅原校長先生の乾杯で楽しい歓談の時間がスタート。今回も60名を超える塾・賛助会員の私学の先生方のご出席を頂き、盛大な会となりました。私塾ネット関東・総務部長渡辺浩先生の司会進行で始まった今回の懇親会では、私塾ネット関東新代表仲野先生の自己紹介、そして先生のサプライズ企画では、会場のライトを落とし、4月27日に行われた研修大会から始まる私塾ネットの今年度の活動状況をスライドを使って紹介。又行われたばかりの一部の情報交換会の様子も披露されました。特に熱海で行われた親睦旅行の思い出の場面は、和気あいあいと料理を作る先生方の様子に、ほのぼのとした暖かさを感じさせるものでした。

私塾ネットの良さ「1人はみんなのために、みんなは1人のために・・・」。会員同士が家族的な雰囲気の中で大いに言いたい事を語り合う、すばらしい会で終わる事ができました。

二次会も市ヶ谷駅近くの居酒屋で行われ、昨年同

様、私学の先生が2名も残られ、実に楽しいひと時を過ごす事ができました。

今年の私学情報交換会は、他団体の各地域で行われる進学相談会と日程が同じになり、参加された先生方にご不便をおかけしました。ご多忙の中、ご出席頂きました先生方に最後に御礼申し上げます。ありがとうございました。



機転の利いたスピーチで沸かせる千代田女学園菅原校長。



着席形式の懇親会。お馴染みの先生方のお顔が見られる。



私塾ネット四国研修大会 啓真館松山石井校開校に学ぶ & 愛媛学習塾連盟20周年を祝う

エリア四国 代表 寺嶋 謙次
(香川・学習院セミナー)



午前の部 研修会

午前11:00～12:00

エリア代表寺嶋先生の挨拶で始まり、センター理事長鈴木先生、センター事務局石川先生の挨拶をいただきました。続いて研修部長の原田先生より下記のお話を伺いました。

(啓真館松山石井校開校のノウハウ)

第一にやはり「塾は人なり」ということで、新規採用の教室長の先生と、3日間にわたり徹夜で徹底的に理念について語り合ったそうです。第二には、綿密な市場調査でしょう。

地場の大手塾の生徒募集状況やそのトップの求心力、テナントの立地条件などなど。第三には、実際の生徒募集についてであります。6月16日開校につき夏期講習全額無料という大キャンペーンを行った所、約90名の無料体験希望の生徒さんが集まったそうです。(9月からの継続約60名)もちろん、チラシだけの効果だけではなく、熱狂的なファンが保護者の中から作り出せたことも大きかったようです。なかなか気合の入った新規開校であるように思いました。

一方、迎え撃つ既存の個人塾としては、どのような対応をすればよいのでしょうかとの質問がありました。答えは、「動かざること山の如し」とのこと。つまり、その個人塾が大手にはまねのできない強い物を持っている必要があるということです。今一度自塾の強みを見直し、積極意的にアピールして生徒募集につなげてゆかなければなりません。



研修会の口火を切る湯口先生。右に寺嶋代表と啓真館原田先生。



研修会に参加した私塾ネットメンバー。右から4人目は東京からはせ参じた鈴木理事長と石川事務局長(左)。

(啓真館3年後に向けての戦略及び戦術)

啓真館では、短期(1年後)・中期(3年後)・長期(10年後)の設計図があるそうです。長期は予想であり、こうなればいいなというもの。中期は予測であり、ほぼ実現可能なもの。短期は、修正であり誤差の範囲内であるそうです。なんと緻密な設計なのでしょう、すばらしい。また、最大・適正・最低設計図というものがあるそうです。生徒募集において最大より多すぎてもだめ、最低より少なすぎても失敗ということだそうです。当然、最低ラインは人件費等々からはじき出される損益分岐点なのでしょう。

さらに、「あこがれられる企業づくり」をテーマに、職員の労働環境の改善に取り組まれるとのこと。一例を挙げると、研修専門のスタッフを配置されていくそうです。

また、2010年2月において、生徒数5000名・純利益2億円・自己資本比率65パーセントを達成していきたいとのことでした。その後は、学校法人の取得や、株式公開のメリット・デメリットを模索されていられるそうです。皆さんの塾ではどのような計画や

夢がありますか。各々状況は異なることでしょう。しかし、ぜひ夢や希望を、スタッフと共に語り合える塾長でありたいものですね。そうすると、スタッフが、生徒や保護者と夢や希望を語り合ってくださいることでしょう。



愛塾連梶岡会長のご挨拶から記念大会は始まる。

午後の部 研修会 13:00～17:00

(愛媛学習塾連盟20周年記念大会とのコラボレーション)

愛媛学習塾連盟20周年おめでとうございます。愛媛学習塾連盟会長の梶岡勉様からごあいさつがありました。これまでの20年に思いを馳せながら、参加されている皆様方への感謝のお気持ちを述べられました。

次に、講演「子どもたちの今」をみる」と題しまして、愛媛大学教育学部・准教授露口健司先生よりご講演がありました。パワーポイントを使いながら、興味深い資料の説明をしていただきました。概要は、学力向上(低下)には、8つの要因があるとのこと。保護者の方にもぜひ聞いてもらいたい内容となっていました。資料は先生のご好意で使ってくださいますとのこと。続いて、松山らしく(有)マルコボ・コム・チャンヒ様より句会ライブがありました。会場の皆さんは、旅の思い出に一句ひねった後、発表会をしました。栄えある優勝作品は徳島・松田先生の「冷やっこ しょうゆのにじむ 白きさら」です。



乾杯の挨拶のたつ湯口先生(香川・湯口塾)。

(懇親会)

やって参りました。懇親会。湯治場道後の雰囲気癒されながら、各先生方は昼とは一味違う交友を深め合っていました。わずかにアルコールが入ればなおのこと、塾長ひとりひとりの個性も見えてきます。瀬戸の海の幸満載のディナーに舌鼓を打てばさらに口は軽く、言葉は弾んでいました。

(二次会・三次会)

村祭りの雰囲気にも似た集団が個人技を競うのがカラオケ。次々と繰り出される熱唱という名の技の数々、皆さんご満悦でした。時を同じくして、207号室では湯口先生の「愛の説教部屋」が幕を開けたのでした。そこでは、塾人の熱い思いを、世代を超えて語って下さいました。いやいや愛の説教部屋は、SOUL TO SOUL そのものでした。

今回もまた、エネルギーと情報が満載の研修会でした。

わざわざ東京から参加していただいた役員の皆さん。広島から貴重な報告をしていただいた皆さん。準備に奔走していた塾長、先生方、本当にありがとうございました。その思い、実りました



楠山先生は全国学習塾協会副会長のお立場でご挨拶。



山口名誉会長のご挨拶に神妙な面々。

エリア中国 代表 北川 健治

(広島・栄光プレップ)



私塾ネット中国では、来る11月16日、恒例の1泊塾長研修会を忘年会をかねて実施することになっています。今回は山口で開催。私塾ネット中国のメンバーにして、西日本の学習塾でその名も高い宇部進学教室です。10年ぶりぐらい。富田先生率いる宇部進学教室の訪問をメインに実際に数多くの現場を拝見させていただいて、理念と実践をお伺いいたしましょう、という研修となっていますが、生命力旺盛な私塾ネット中国の面々にとっては、毎年のことながら、塾長研修とは体のいい盗人家業(?)よろしく、何を盗もうかと手ぐすね引いて出かけていくことになっています。(もっとも、一斉授業、個別指導、衛星放送授業、小中高、拠点型校舎、地元密着型校舎など、類型パターンも数多く装備されている塾なので丸ごと盗むことなど到底できないでしょう。)そして、山口湯田温泉の「維新の湯」につかり、2009年、疾風怒涛のうねりが感じられる学習塾業界、乱世もこれまた楽しとしゃれて、それぞれの塾の来年度にむけての威風堂々の経営計画策定の参考となるものにしたと企画いたしております。

エリア中部 代表 松本 紀行

(長野・チャレンジ学院)



塾にとって収穫の秋がやってまいりました。私塾ネットの皆様は、冬期講習や新年度に向けてお考えを巡らせていることと思います。社団が創立二十周年を向かえ、その歴史を積み重ねております。今後、私共私塾ネットも、社団を支えていくことが肝要かと思っております。

去る九月、三重県の湯の山温泉でエイズウさんの研修施設を拝見させていただきました。この施設も二十年を向かえるということで、職員研修や近隣の方々に利用されておるそうです。たまたま、本年度新たな研修施設がご近所に完成したということで、そちらも拝見させていただきました。プール・露天風呂・宿泊施設・食堂等々を備えた羨ましいほどの施設です。五千坪の多くはまだ森林で発展途上にあるようです。私塾が地域の方々の支持を受け、地域の方々にその利益を還元していく姿は、これからの塾のひとつの方向性を見る思いが致しました。さらに伊勢志摩に新たな宿泊施設を作られたようです。海釣りができるということで、職員を連れて遊びにいきなあと考えております。

同九月、新人社員の研修を兼ねて佐鳴予備校さんを訪問しました。行き先は沼津校。三階建ての立派な校舎でした。すばらしい授業を拝見することができました。特に小学生の英語は楽しく拝見させていただきました。私共の社員一同にとっては、“感

動”、“感動”の連続だったようです。随所に佐藤社長さんの想いをひしひしと感ずることができました。“塾は人なり”やはり原点に帰らねばと考えさせられた一日でした。

さて、十一月になりますと信州は錦秋輝く季節となります。恒例の「湯けむりの会」は松本市から程近い鹿教湯温泉で行う予定です。一杯やりながらゆっくりと語りたい方は、どうぞお越し下さい。



エリア関東 代表 仲野十和田

(東京・ナカジユク)



「中学に入って最初にするのは、自分が勉強する机と椅子を作ることなんです。その木も、自校で植林した木で。」と、私が所属するJKK(塾教育研究会)のメンバーから聞かされたのは、今から1年程前。「自由学園」という名前だけは知っていたが、内容はほとんど知らなかった。どんな学校なのだろうと興味を持ち、東京都久留米市の閑静な住宅街の中にあるこの学校を訪れた。まず、門をくぐって驚くのが樹木の多いことだ。学校の敷地は3万坪。案内された講堂に集まっていた塾関係者は10数名程。

さて、このとき学校教育の内容を聞いて驚きを感じたのは、私だけではなかっただろう。少々概要だけでもお伝えすると、学校は男子部、女子部に分かれていて、6年制。男子部1年生は寮生活となり、以降は自由に選択。寮には責任者の先生がいるが、宿泊はしておらず、6年生(高校3年生)が下級生を統制するという、いわゆる「生徒自治」が行われている。新6年生は1年生を迎え、新しい学校自治をするために、数ヶ月話し合いを重ねるといふ。ちなみに今年の6年生は合議で、全員寮生活をし、1年生の面倒を見ることを決定したという。この1年生と6年生の関係は親子のようなもので、一生継続することが多いとのこと。

女子部とはいうと、昼食は各学年の生徒たちが、家庭科の授業の一環として作り、お米は自校で育てた木を薪にして炊く。食事のときは当番の学年が、食材やカロリー、1人当たりにかかった食費などを発表する。

自由学園は「生きる力」を伝える教育を実践している数少ない学校であろうと思います。10月5日の私学情報交換会にご参加いただき、その後私塾ネットの賛助会員に。11月21日には、塾向けの学校で説明会がありますので、是非足を運んでみて下さい。賛助会員の学校関係者もどうぞ。きっと何か感じるものがあると思います。

エリア東北 代表 畑山 篤(青森・志学塾) 島根県隠岐島へ「出前塾」

7月、青森県の教員採用試験の倍率が発表になった。2.2倍である。日本の最高学府を終え2.0倍という高倍率の試験を突破した人材で、落ちこぼれ、いじめ、不登校、学級崩壊...様々な問題が日本国中の学校で解決しないのなら、もう「学校」という仕組みそのものが終わっているのかもしれない。そこに、大分県のように、縁故・贈収賄が潜んでいては学校教育の弱体化の流れに歯止めがかからない。教育委員会を含む学校制度そのものが末期なのかもしれない。



島根県隠岐島葦原湾を望む。

今年に入って、学校教育を地域が支援するという動きが出てきた。そしてこの夏、内閣府内閣官房企画官が教室見学にやってきました。ご縁で島根県隠岐郡海士町の教育委員会に招かれて、私は二日間の「出前塾」を行ってきた。

実は弊塾で展開しているインターネットで京大生を派遣する個別教育が着目されてのことだ。教育の再生にIT技術の活用という切り口は「なるほど」と思わせるが、しかし教育現場とはそう簡単なものではない。

どんなに教員が優秀でも、子ども達の側に学ぶ意欲がなければお手上げである。だから、今回の私の使命は京大生の派遣よりも「夢に向かって自ずと努

力を積む」学習方法を子ども達に直に伝えることであった。

明治5年の学制発布以来、学校教育では藩校・寺子屋での個別教育に代わり、学年別の一斉教育が行われ今日の学校での授業スタイルが作られ行われてきた。そして今、2.0倍という高倍率の採用試験を乗り越えた優秀な教員が配置される学校教育で、一学年数名の離島の小学校でさえもいわゆる落ちこぼれが出てしまう現実がある。



「出前塾」初日の授業にはNHKの取材も入る。

私は集団に一斉授業をするという教育のシステムを見直す時期に来ていると考えている。今回の「出前塾」では一斉個別方式という全く新しい学習指導を行った。そして私塾が地域で行っている教育のシステムで、簡単に学ぶ意欲を引き出したという現実が多く、教育関係者に驚きを与えたようだ。

文科省は全国に「学校支援地域本部」を本格的にスタートさせた。これからの学校教育は地域の教育力が鍵を握るだろう。地域が学校を支援する「連携」の流れの中で、子ども達に「学びの意欲」を持たせる本気の教育が実現して欲しい。塾は教育を生業として、全国津々浦々にある。東北エリアでも、ますます私塾のネットワークが大切になってきたと認識し地域の社会教育・家庭教育を担っていきたいものだと考えている。

私塾ネット「札幌」研修会懇親会のご案内

理事長 鈴木正之・副理事長 入江昌徳

さて、標記のように札幌で研修会・懇親会を開催する運びとなりました。

詳細は以下の通りでございます。皆様のご参加を心よりお待ちしております

研修会

日時:平成20年11月3日(月・祝)

午後3時30分～5時30分

場所:札幌進学教室 電話 011-271-3565

内容:第1部 感動DVDをもう一度

- 作成の仕方を学ぼう -

講師:仲野十和田先生

第2部 DVDプレーヤーで手軽にできる個人レッスン

第3部 礎の数学

- 新中学1年生を引きつける公開授業 -

講師:2部・3部ともに礎優先生

懇親会

日時:平成20年11月3日(月・祝) 午後6時～8時

場所:調整中

*入江先生お気に入りの寿司屋さんで、秋の北海道の味覚を堪能!(食べ放題!)

会費

研修会のみ: 2,000円

研修会・懇親会:12,000円(懇親会のみも同額)

参加ご希望の方へ

・現地集合、現地解散となります。

・参加希望者は、別紙申込書をセンター事務局宛にFAXしていただくか、電話ないしはメールにて。

・お申込先電話 03-6680-6542

(私塾ネットセンター事務局)

お申込メールアドレス center-office@shijuku.net

渉外部報告

私塾ネット渉外部長 佐藤勇治

平成20年10月12日(日)、社団法人 全国学習塾協会 設立20周年記念大会(塾の日フェスティバル2008 in 東京)が新宿のヒルトン東京、菊の間で開催されます。

今回の渉外部報告は、渉外部長の佐藤が20周年記念大会実行委員会のメンバーの1人として運営に携わると同時に、20周年記念誌『絆きずな』の編集委員長をつとめましたので、その概要をお知らせ致します。

1 設立20周年記念大会(塾の日フェスティバル2008 in 東京)

- (1) 日 時：平成20年10月12日(日) / 13:15 - 20:30
- (2) 会 場：ヒルトン東京 [菊の間] (新宿)
- (3) 費 用：20,000円(ただし、第1部・第2部のご参加は5,000円)

2 設立20周年記念大会(塾の日フェスティバル2008 in 東京)

- (1) 第1部 塾の日記念式典
例年、永年勤続職員及び、塾生表彰、業界自主基準遵守塾表彰、全国読書作文コンクール表彰が行われていますが、20周年の特別表彰として学習塾業界の発展に寄与された次の方々や団体が、当日、式典の中で表彰されることになりました。
功労者特別表彰 個人26名(TOPICS面に詳細)
功労者特別表彰 団体18団体(同上)
感謝状贈呈者 個人6名(同上)
- (2) 第2部 音楽演奏、写真で綴る20年、特別企画「授業公開」
- (3) 第3部 親睦交流会、ピアノ演奏、歌唱、記念誌完成報告会

3 社団 設立20周年記念誌『絆きずな』完成報告

- (1) 編集責任者 佐藤勇治(私塾ネット渉外部長)
- (2) B5判、総頁数406頁
- (3) 表紙 布製上製本、金箔押、函付き、見返し(真紅)
- (4) 本扉 カラー水彩画「桂林」
- (5) 口絵 カラーアルバム16頁
- (6) 原稿を書いて下さった人数 110人
- (7) 社団法人 全国学習塾協会の20周年史のほか学習塾関係の資料を満載
- (8) 第3章 特別寄稿の方 ご紹介(本誌は第1章から第9章までの構成)
松丸道雄 東京大学名誉教授(甲骨文字研究・中国古代史)
西村和雄 京都大学教授(京都大学経済研究所 所長)
中嶋浩一 一橋大学名誉教授(理学博士、天文学)
鈴木 寛 参議院議員、慶應大学SFC助教授 宮川健郎 武蔵野大学教授(児童文学者)
小川義和 国立科学博物館 学習課長(教育学博士)
結城 忠 国立教育政策研究所 名誉所長(教育学博士)
鶴田誠二郎 江東区教育委員会 学校教育部指導室指導主事
高嶋哲夫 作家・全国学習塾協同組合(AJC)理事
佐藤忠男 映画評論家・専修学校日本映画学校 校長
向山佳絵子 チェリスト 氏岡真弓 朝日新聞教育エディター
小嶋良三 洋画家・創作美術会員 武田美保 アテネオリンピック銀メダリスト(シンクロ)
ジュリアン・ディルケス ブリティッシュ・コロンビア大学助教授(社会学博士)
早瀬道世 ディルケス助教授の研究助手
秋葉ひとみ 調布学園英語科講師(東京外国語大学院生・博士前期課程)

なお、9月から12月までの各団体の活動は、次号でご紹介致します。

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 石川維雪

すっかり秋めいてきました。あつと言う間に年末が来そうです。そろそろ気を引き締める時期ですね。お互いに健康に十分留意して、今年の冬を乗り切りましょう。

さて、夏休みを挟んで事務局としての今年の大きなテーマの1つである「地方とのコミュニケーション」の活動をしました。まずはその後報告から。

志学塾(八戸)主催「最新高校進学説明会」

7月20日(日)

感動DVDあり、通信制高校の先生の熱いお話有り、充実した会でした。

札幌進学教室訪問：9月7日(日)

札幌へ伺ったのは本当に久しぶりでした。鈴木理事長に同行し、入江先生と今後の私塾ネットの方向性や北海道のこと、その他いろいろなお話をさせていただきました。

愛媛県学習塾連盟20周年式典

(兼エリア四国会合)：9月14日

愛塾連には私塾ネットの先生方も加盟なさっています。その関係で今回は私塾ネットセンターからも

鈴木理事長と私が出席しました。十亀先生には本当にお世話になりました。

エリア関東主催「私学情報交換会」：10月5日
今年実施時期が前倒しになりましたが、4校の先生方をお迎えしてお話を伺いました。

特に自由学園の校長先生のお話は、とても興味深いものでした。

今後も各エリアの行事が目白押しです。以下に予定を記載します。ぜひご参加ください。

札幌進学教室・私塾ネットセンター共催「札幌研修会・懇親会」：11月3日(月・祝)

エリア中部「湯けむりの会」：11月9日(日)～10日(月) *受付終了

友好団体・大井町から教育を考える会(OKK)主催「進学相談会」：11月9日(日)

エリア中国「定例会・研修会」：11月16日(日)

志学塾(八戸)主催「進学相談会」：12月7日(日)

なお、11月3日には塾全協主催の研修大会が、12月7日には塾団体合同忘年会が、例年通り実施される予定です。こちらも是非ご出席ください。

閑話休題

編集長 谷村志厚

小中学校で授業や学級運営ができず、教師としての資質が問われる例をよく耳にする。文科省は17日、各地の教育委員会から昨年度中に「指導力不足」と認定された公立学校教員が371人いたと公表した。この数字が多いと見るか少ないと見るか、これでも昨年度よりは79名の減少とのことだ。しかしながらこの事実も氷山の一角と指摘するむきもあり、問題教員は潜在的にもっといるであろう。371人の7割は男性で、年齢層別では40歳代が46%、50歳代が37%で、いわゆるベテラン教師が8割を超えている。指導力不足と認定された理由は「生徒の反応を確かめず一方的に授業を進める」「板書が乱雑で筆順の間違が多い」など授業技術の適性が疑われる例が目立つという。ベテラン教師に不適者が多いというのは、意外なようだが実は当然のことだと思える。「経験からくる慣れが日々の授業を陳腐化している」「旧来の詰め込み方の集団指導法が、現在の個性重視型の環境に対応できなくなっている」といった点が理由として指摘できよう。ひるがえって塾ではどうか。学校と塾の決定的な違いは、稚拙な授業しかできない塾は淘汰され、結果として消滅するという厳しい現実である。といっても現存している塾が、すべて満足な授業をしているとは思えない。今年から全国学習塾協会主催で塾講師の能力評価認定制度が始まった。これは厚労省の「学習

塾業雇用高度化推進事業」を原点とし、経産省の「ビジネス性実証支援事業」の一環としてシステムを構築したものである。認定試験を通じて、講師のスキルアップとキャリアアップに役立てようというものだ。初年度の今年7月、独り立ちできる講師レベルの技量を問う2級認定試験が実施された。私は審査委員として、2次試験に相当するDVDによる模擬授業試験の審査にかかわった。60名ほどの受験者の模擬授業映像をつぶさに見させていただいた。玉石混交その出来不出来はさまざまだが、若い講師のいきとした元気な授業に出会い、「ベテラン」である我が身を振り返り、反省をする機会をいただいた。このような経験から、前述の「ベテラン教師の不適格者の多さ」が納得できるわけである。豊富な経験は最低限の授業の質は担保できるであろう。しかし、子どもたちがわくわくし魅力的だと感じる授業は、経験が豊かだからといって保証できるものではない。むしろ慣れから生じる冗漫さが、授業の妨げになることが多いのではなからうか。この能力評価認定制度を、快くおもはない方が多いことは承知している。塾に認定制度そのものがそぐはない、大手塾向けのシステムだ、なぜ社団がやるのだ等の意見が聞こえてくる。これらの意見に反論する紙面はないで別の機会に譲りたいが、私は、前述の審査員の経験と自らへの反省から、この能力評価認定システムを支持したいと思う。

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校	村山 ヴァドラー先生
東京都渋谷区本町3-2-2	03-3376-2244
江戸川学園取手中学高等学校	竹澤 賢司先生
茨城県取手市西1-37-1	0297-74-8771
十文字中学高等学校	卯木 幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33	03-3918-0511
東洋高等学校	野間 一夫先生
東京都千代田区三崎町1-4-16	03-3291-3824
桜丘中学高等学校	品田 健先生
東京都北区滝野川1-51-12	03-3910-6161
聖徳大学附属中高等学校	川並 芳純先生
千葉県松戸市秋山600	047-392-8111
麹町学園女子中高等学校	大野 博人先生
東京都千代田区麹町3-8	03-3263-3014
春日部共栄中学	宇野 禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213	048-737-7611
大成高等学校	森 保先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196
東京学園高等学校	須藤 勉先生
東京都目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641
東京立正中学高等学校	藤井 教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	03-3312-1111
八雲学園中学高等学校	横山 孝治先生
東京都目黒区八雲 2-14-1	03-3717-1196
関東第一高等学校	副田 康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11	03-3653-1541
武蔵野中学高等学校	丹野 秀彦先生
東京都北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151
神田学園中学高等学校	齋藤 元治先生
東京都千代田区猿楽町2-3-6	03-3291-2447
和洋国府台女子中学高等学校	太田 陽太郎先生
千葉県市川市国分4-20-1	047-371-1120
東京文化中学高等学校	上前 善勝先生
東京都中野区本町6-38-1	03-3381-0196
文京学院大学女子中学高等学校	水上 茂先生
東京都文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301
京北学園中学高等学校	実方 隆志先生
東京都文京区白山5-28-25	03-3941-6253
大森学園高等学校	河嶋 正先生
東京都大田区大森3-2-12	03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校	増澤 文徳先生
東京都北区豊島8-26-9	03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校	河村 文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130
青稜中学高等学校	多々良明典先生
東京都品川区二葉1-6-6	03-3782-1502
東京女子学園	実吉 幹夫先生
東京都港区芝4-1-30	03-3451-6523
駒込中学高等学校	河合 孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25	03-3828-4141
愛国中学高等学校	高橋 英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1	03-3658-4111
日本橋女学館中学高等学校	羽田野 敦先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6	03-3662-2507
安田学園中学高等学校	福谷 隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25	03-3624-2666
多摩大学目黒中学高等学校	福本 明男先生
東京都目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661
科学技術学園高等学校	高塚 聡先生
東京都世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711
日本音楽高等学校	中野 道代先生
東京都品川区豊町2-16-12	03-3786-1711
立正中学高等学校	今田 正利先生
東京都品川区大崎4-2-16	03-3492-4416
上野学園中学高等学校	高橋 公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12	03-3842-1021
二松学舎大学付属高等学校	木村 誠次先生
東京都千代田区九段南2-1-32	03-3261-9288
村田女子高等学校	武 雅祐先生
村田学園小石川女子中学校	03-5940-4187
東京都文京区本駒込2-29-1	
自由学園(中等部・高等部)	矢野 恭弘先生
東京都東久留米市学園町1-8-15	042-422-3111
(株)パイロットコーポレーション	辻 豊様
東京都中央区京橋2-6-21	03-3538-3782
(株)教育企画ティーファイブ	山田 孝幸様
東京都品川区北品川1-22-17-104	03-5479-7061
(株)創開コミュニティー	小林 和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202	04-7164-6511
ギガビジョン株式会社	櫻井 淳二様
東京都千代田区九段北1-4-5	03-3237-5861